

母村の郡上市から中学生が来町し交流活動を行いました

8月19日から21日までの3日間の日程で、郡上市から市内8校の中学生10名が来町し、小中学生などと様々な交流を行いました。

明治期より下川町に入植した郡上の先人の足跡を訪ね、郡上市と下川町の友好を深めることや、下川で暮らす方々との交流体験活動から、中学生自身が自分の生き方やふるさとのよさ、未来について考え、学んだことを広めていくことを通して、将来の郡上や日本を支える人材育成につなげる目的で今回の交流活動が行われました。

交流活動では、ミニチュアジャンプ体験や下川町の歴史の講話、一の橋バイオビレッジなどの見学、マイ箸作り体験などを行い、20日には下川初の「郡上踊りin下川」を開催し新たな歴史を作りました。「郡上踊りin下川」は、コモレビの中庭で開催し郡上踊りの演目である「かわさき」「やっちく」「春駒」を生徒の生歌や三味線などを交えて踊り、北海盆唄も一緒に踊りお互いの文化に触れ合いました。21日は小中学校に訪問し、中学校では「下川×郡上中学生未来会議」を実施。「自分たちのまちをより良くしていくためには」をテーマに、10のグループに分かれて意見を出し合いました。また、郡上踊りも生徒全員で輪を作って踊り、終了後は学年ごとに給食を食べて交流をしました。

